

2012年度事業報告

1. 野球競技の普及振興及び調査研究

野球競技の普及振興を図るため、次の措置を講じた。

- (1) 野球競技の普及振興を図るため、全日本アマチュア野球連盟の行う事業への支援並びに(公財)日本学生野球協会及び各少年野球団体等との連携及び協力関係の強化促進。
- (2) 野球競技者の体位向上並びに栄養学、予防医学に関する調査研究及びその成果の活用。
- (3) 各地域における野球競技の普及振興を図るため、各加盟団体の行う研修事業等に対する助成の充実。
- (4) 連盟内に委員会を設置し、理事会に対し答申をした。
- (5) ティーボール普及事業の実施。
- (6) アマ・プロ交流のあり方についての調査、検討及びその成果の活用。
- (7) (財)世界少年野球推進財団とともに、第22回世界少年野球大会 三重・奈良・和歌山大会(7月20日から7月30日まで三重県熊野市・奈良県下北山村・和歌山県新宮市)を開催した。

2. 野球競技に関する講習会の開催並びに指導者、審判員及び記録員等の養成

(1) 記録員講習会・・・(資料 P23参照)

7月13日から12日間、東京ドームで開催された第83回都市対抗野球大会において、記録員講習の実施研修として各地区連盟から10名が参加し、公式記録を担当した。

(2) 第29回新人研修会・・・(資料 P24参照)

10月5日から3日間、パナソニックベースボールスタジアム<枚方市>で行われ、各地区連盟からの推薦に基づき競技力向上委員会で選考した29名の選手が参加した。競技力向上委員会委員が指導を担当した。なお、アジア選手権大会派遣日本代表チームと練習試合を行った。

(3) 第37回指導者研修会&コンディショニングスタッフ研修会・・・(資料 P25参照)

1月12日から2日間、熱海後楽園ホテル<熱海市>で行われ、加盟チーム監督、トレーナー等103名が参加した。

(4) 日本中学硬式野球指導者講習会・・・(資料 P26参照)

1月26日に、関西地区(西宮市立勤労会館)<西宮市>で行なわれ、日本中学硬式野球協議会所属3団体の指導者385名が参加した。

2月2日に、南部九州地区(ホテルきよ武)<宮崎市>で行なわれ、日本中学硬式野球協議会所属4団体の指導者78名が参加した。

また、2月3日に北部九州地区(八仙閣)<福岡市>で行なわれ、日本中学硬式野球協議会所属5団体の指導者188名が参加した。

(5) 第55回全国審判講習会・・・(資料 P29参照)

2月8日から3日間、レクザムスタジアム<高松市>に於いて、各地区の審判員59名が参加して行われた。なお、アジア地域の野球振興の一環として、アジア野球連盟と協力し、7カ国(タイ、フィリピン、スリランカ、パキスタン、香港、インドネシア、シンガポール)から、12名の審判員を受け入れた。

(6) 各地方審判講習会に対する指導員派遣事業・・・(資料 P30参照)

2012年度は、12件(北海道、東北、北信越、九州、秋田、茨城、千葉、埼玉、神奈川、日本リトルシニア中学硬式野球協会、全日本少年硬式野球連盟、八千代市野球協会)から申請があり、それぞれ委員を派遣した。

(7) 野球競技普及振興事業に対する支援・・・(資料 P31参照)

JABA各加盟団体等が実施している野球振興事業に対し支援を行った。50件の事業を対象とした。

3. 野球競技に関する全国規模の各種国内大会の開催

(1) 第83回都市対抗野球大会・・・(資料 P32参照)

7月13日から12日間、東京ドーム<東京都>で開催された本大会では、「横浜市・JX-ENEOS」(2年連続46回目の出場)が史上最多となる10回目の優勝を飾り、黒獅子旗を獲得した。

(2) 第37回全日本クラブ野球選手権大会・・・(資料 P34参照)

9月7日から4日間、西武ドーム<所沢市>で開催された本大会では、近畿地区代表の「滋賀・高島ベースボールクラブ」(初出場)が初優勝を飾った。

(3) 第5回クラブカップ大会・・・(資料 P35参照)

2年ぶりに開催したクラブカップ大会は、全国を3ブロックに分けて以下のとおり行なわれた。出場チームは、第37回全日本クラブ野球選手権大会に出場していないチームとし、それぞれ8チームにより大会を行なった。

① 第5回東日本クラブカップ大会

10月6日から2日間、仙台市民球場<仙台市>で開催。
函館大洋倶楽部(北海道地区)が優勝した。

② 第5回中日本クラブカップ大会

9月29日から2日間、保土ヶ谷・神奈川新聞スタジアム<横浜市>で開催。
WIEN'94(南関東地区・東京都)が優勝した。

③ 第5回西日本クラブカップ大会

9月15日から2日間、周南市野球場<周南市>で開催。
アークバリアドリームクラブ(四国地区)が優勝した。

(4) 第38回社会人野球日本選手権大会・・・(資料 P38参照)

11月3日から11日間、京セラドーム大阪<大阪市>で開催された本大会では、関東地区代表の「JX-ENEOS」(7大会連続18回目の出場)が21年ぶり2度目の優勝を飾り、ダイヤモンド旗を獲得した。

(5) 2012年度 JABA公式大会・・・(資料 P40参照)

2012年度各JABA公式大会の結果(主要大会のみ)

(6) 2012年度社会人野球表彰事業

① 表彰選考委員会において、以下のとおり選考し、決定した。

(ベストナイン) ※年齢は、2012年12月11日時点

位 置	氏 名	年令	所 属	回数
投 手	大 城 基 志	25	J X - E N E O S	初
捕 手	山 岡 剛	29	J X - E N E O S	2
一塁手	梶 原 康 司	34	パ ナ ソ ニ ッ ク	2
二塁手	田 村 亮	33	J R 九 州	初
三塁手	宮 澤 健太郎	32	J X - E N E O S	2
遊撃手	田 中 広 輔	23	J R 東 日 本	初
外野手	松 本 晃	27	J R 東 日 本	初
	井 領 雅 貴	23	J X - E N E O S	初
	松 島 圭 祐	24	伯 和 ビ ク ト リ ー ズ	初
指名打者	池 辺 啓 二	30	J X - E N E O S	3

(個人賞) ※成績・・・(資料 P41参照)

賞	氏 名	年令	所 属	回数
首位打者賞	川 戸 洋 平	28	H o n d a	初
最多打点賞	梶 原 康 司	34	パ ナ ソ ニ ッ ク	初
最多本塁打賞	該当者なし			
最多勝利投手賞	吉 田 一 将	23	J R 東 日 本	初
最優秀防御率賞	三 橋 尚 文	33	J F E 東 日 本	初
特別賞	横浜市・JX-ENEOS			初

※横浜市・JX-ENEOS は、都市対抗野球大会史上最多となる10回目の優勝

② 表彰式

期日：12月12日(水)

場所：KKRホテル東京(東京都)

4. 野球競技に関する各種国際大会、国際親善試合の開催に対する代表参加者の派遣

(1) 国際大会等に参加する日本代表チームへの参加者の派遣

① 第5回 IBAF 女子ワールドカップ・・・(資料 P42 参照)

日本女子野球協会より選手20名を派遣した。

日 程：8月10日(金)～8月19日(日)

開催地：カナダ エドモントン市

成 績：①日本 ②アメリカ ③カナダ ④オーストラリア

⑤ベネズエラ ⑥台湾 ⑦オランダ ⑧キューバ

※優勝祝勝会を全日本アマチュア野球連盟と日本女子野球協会で開催して行なった。

12月7日(金) 明治記念館 参加者200人

- ② 第25回 IBAF18U 世界選手権・・・(資料 P43 参照)
日本高等学校野球連盟所属選手20名を派遣した。
日程：8月30日(木)～9月8日(土)
開催地：韓国 ソウル市
成績：①アメリカ ②カナダ ③台湾 ④コロンビア ⑤韓国 ⑥日本
⑦パナマ ⑧ベネズエラ ⑨オーストラリア ⑩イタリア ⑪オランダ
⑫チェコ
- ③ 第6回 BFA12U アジア選手権・・・(資料 P44 参照)
全日本軟式野球連盟より選手14名を派遣した。
日程：8月17日(金)～8月22日(水)
開催地：中国 成都
成績：①中国 ②台湾 ③韓国 ④インドネシア ⑤フィリピン ⑥日本
⑦香港 ⑧パキスタン
- ④ 第7回 BFA15U アジア選手権・・・(資料 P45 参照)
KB 野球連盟より選手18名を派遣した。
日程：11月5日(月)～11月10日(土)
開催地：インド オリッサ州ブバネシュワール市
成績：①台湾 ②日本 ③韓国 ④インド ⑤タイ
(出場辞退：ネパール、フィリピン、パキスタン)
- ⑤ 第26回 BFA アジア野球選手権・・・(資料 P46 参照)
社会人選手21名、大学生選手3名を派遣。5戦全勝し、5大会連続18回目の優勝を果たした。
日程：11月28日(水)～12月2日(日)
開催地：台湾 台中市
成績：①日本 ②台湾 ③韓国 ④中国 ⑤フィリピン ⑥パキスタン
- ⑥ 15U アジアチャレンジマッチ2012・・・(資料 P48 参照)
2007年に中学硬式野球日本一を争う「第1回全日本中学野球選手権大会 ジャイアンツカップ」の開催を記念して創設。日本中学硬式野球協議会所属7リーグから選手18名を派遣した。
日程：11月23日(金)～25日(日)
開催地：松山市
成績：①日本 ②韓国 ③台湾 ④松山市選抜

5. 野球競技者の競技力向上の推進

(1) 日本代表チーム強化練習への候補選手及び選手等の派遣

- | | | | | |
|---|---------------|---------|--------|----------------|
| ① | 世界大学選手権代表選考合宿 | 6月22日～ | 6月22日 | 平塚球場 |
| ② | 世界大学選手権直前合宿 | 7月4日～ | 7月9日 | 平塚球場 |
| ③ | アジア選手権強化合宿 | 8月2日～ | 8月5日 | JR 東日本野球部柏野球場 |
| ④ | アジア選手権強化合宿 | 10月3日～ | 10月7日 | パナソニック BBS |
| ⑤ | アジア選手権直前合宿 | 11月22日～ | 11月25日 | JX-ENEOS グラウンド |

(2) 2012年プロ・社会人交流試合の実施・・・(資料 P49 参照)

6. 野球競技に関する競技規則の制定

日本アマチュア野球規則委員会に委員を派遣し、競技規則の整備と制定に参画した。

7. 野球競技の競技施設並びに用器具等の指導及び公認

(1) 各地区における野球競技施設の指導及び公認

(2) 使用球の公認

- ① 使用球の公認 =イソノ運動具店、ミズノ、久保田運動具店、松勘工業、スミヤ、
エスエスケイ、ゼット、アシックス、一光スポーツ、ハイゴールド、
サンアップ
以上11社
- ② 使用球の準公認=大阪ホームー 以上1社

(3) 用器具等の指導及び公認

(一財)製品安全協会に委員を派遣し、意見具申。

(4) 「NPO法人アオダモ資源育成の会」への参画

「アオダモ資源育成の会」に委員を派遣。

8. 公益財団法人日本体育協会及び全日本アマチュア野球連盟に対する加盟並びにそれらの事業への協力

(1) 公益財団法人日本体育協会への協力

- ① (公財)日本体育協会に役員等を派遣し、意見具申。
- ② 全国スポーツ指導者連絡会議に委員を派遣し、意見具申。

(2) 全日本アマチュア野球連盟の事業に対し、次の措置を講じた。

- ① 全日本アマチュア野球連盟の事業に対する分担金を拠出した。
- ② 全日本アマチュア野球連盟が行った4の(1)及び5の(1)の事業に対し、競技者及び役員等の派遣。

9. 全日本アマチュア野球連盟を通じた国際野球連盟、アジア野球連盟、全日本野球会議及び公益財団法人日本オリンピック委員会の事業に関する協力

(1) 国際野球連盟 (IBAF) 及びアジア野球連盟 (BFA) への参画

- ① IBAF、ISF&MLB ミーティング 10月2日(火)～10月5日(金)
出席：田和全アマ専務理事 〈アメリカ・ニューヨーク〉
- ② BFA 執行委員会 12月3日(月) 〈台湾・台中市〉
出席：鈴木全アマ副会長、田和全アマ専務理事
- ③ IBAF TC クリニック 8月24日(金)～8月25日(土) 〈東京都内〉
田和全アマ専務理事、麻生全アマ理事、柴田全アマ事務局次長
- ④ オリンピックデーフェスタ IN 青葉 12月24日(月) 〈仙台市内〉
出席：鈴木全アマ副会長、大田垣全アマ選手強化本部長、柴田全アマ事務局次長

(2) 全日本野球会議への参画

① 各委員会主催事業への参画

・技術指導委員会

野球指導者講習会（1月18日から3日間〈千葉市〉）の開催や指導者の派遣等に関わる委員等の派遣。

・審判技術委員会

プロ・アマ審判代表者で構成され、審判技術の研究並びにアンパイアスクール（12月1日から2日間〈柏市〉）の実施に関わる委員を派遣。

・国際委員会

国際的な諸問題にプロ・アマ協力して取り組んで行くために設けられた委員会。プロ・アマ双方から委員を派遣。

10. 野球競技に関する刊行物の発行

(1) 「財団法人 日本野球連盟 連盟報」（2012年版）の発行

(2) 2012年版「公認 野球規則」の発行

(3) 「JABAニュース」の発行

(4) 社会人野球ガイドブック「グランドスラム」（小学館刊行）に対する制作協力

(5) 「日本野球連盟の公式記録完全マニュアル」の発行

11. 諸外国における野球競技の普及振興に関する協力援助

アジア野球連盟加盟国等に対する援助

(1) 用具の提供：アジア野球連盟加盟諸国に対する用具提供を行った。

12. その他目的を達成するために必要な事業

(1) 弊連盟概要に関する情報公開並びに広報活動の充実化を目的として、公式ホームページを開設、運営。

(2) 野球競技の普及振興等協議のため、地区連盟会長等との懇談会（7月14日）を開催。

(3) (財)野球体育博物館に役員、評議員を派遣し、意見具申。

(4) (公財)スポーツ安全協会に評議員を派遣し、意見具申。

(5) 東日本大震災の被災地において野球競技の復興を目的とした復興支援事業を実施。

・・・（資料 P52参照）

①震災で失ったものに対する物的支援。

②被害を被ったチームに対する支援。

③復興交流試合・少年野球教室の開催。

(6) 第83回都市対抗野球大会に東日本大震災被災地3県（岩手、宮城、福島）の少年野球チームをそれぞれ招待した。

(7) 東日本大震災復興関連事業として、義援金を毎日新聞東京社会事業団を通じて寄附した。

また、『がんばろう！日本』横断幕を作成し、第37回全日本クラブ野球選手権大会、第83回都市対抗野球大会、第38回社会人野球日本選手権大会に掲出。

ヘルメットロゴステッカーを作成し、各加盟団体、各加盟チームに配布した。